

## Creativity Development

### Introduction to Astronomical Observation

(夜間主(全1~4年))

Ken-Ichi Fushimi · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

2 units 後期 月 13・14

(平成19年度以前の授業科目:『自然と技術』) (平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『総合科目』)

**Target)** 宇宙の観測を体験して、現代の科学技術との関連を実感する。宇宙を観測する方法は対象によってさまざまである。はじめにいろいろな天体とその観測方法について紹介する。その後いくつかの観測方法によって宇宙の探求を実践する。

**Outline)** 1. 天体とは、宇宙の広がりについて 2. 宇宙観測の方法 3. 宇宙観測の実践(下記のどれかを実践する) 3-1. 天体望遠鏡による観測(写真・CCD観測など) 3-2. 望遠鏡を使わない観測(写真・ビデオ観測など) 3-3. 電波などによる観測

**Keyword)** *cosmology*, 天体観測, 写真撮影・画像処理

**Relational Lecture)** “[Science and Technology/Introduction to Astronomy and Cosmology](#)”(0.5)

**Goal)** 季節の代表的な星座を見つけられること。全ての惑星、主な恒星の名前を言えること。

**Schedule)**

1. ガイダンス
2. 天体の階層(講義)
3. 参考文献購読
4. 参考文献購読・解説
5. いろいろな天体観測の方法(歴史)
6. いろいろな天体観測の方法(最新技術の紹介)
7. 天体観測 I
8. 天体観測 II
9. 解説
10. 天体観測 III
11. 天体観測 VI
12. 解説
13. 天体観測 V
14. 天体観測 VI
15. 解説
16. 総括授業

**Reference)** 天文ガイド(伏見教員室に常備しているものを適宜貸与することができる)

**Evaluation Criteria)** レポート(2~3回) 50点。星座解説ができる20点。全ての一等星の名前と位置がわかる10点。全ての惑星について解説することができる10点。メシエ天体について、いくつかの解説ができる10点。

**Message)** 天体観測は屋外で夜間に実施します。冬季なので非常に寒くなるのが予想されますので、温かい服装を用意してください。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221370>

**Contact (Office-Hour, Room, E-mail)**

⇒ Fushimi (総合科学部3号館1N01, +81-88-656-7238, [kfushimi@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:kfushimi@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (Office Hour: 11:50-12:50 weekday)